



# 9月 どうぶつグループだより

2024. 9. 1

どうぶつグループのお部屋に海が出来ています。ゆりさんは5枚折りで、ばらさんは3枚折りや王冠折りで海を作り、ぬいさしや色塗りで可愛い魚やカメ、カラフルな海藻、貝殻などを作っています。ぬいさしでは、少しずつ細くなったり、さくらさんは、形になってきたりとそれぞれで難しくなっています。「むずかしくてできない」「できるかわからない」となってしまうお友だちもいました。それでもひとつあそび、取り組んで出来ると、「できた！」という嬉しさで、もっとする！とどんどんと挑戦する姿に変化しています。出来たぬいさしなどを壁に貼ると、もっと嬉しい気持ちになる子どもたち。お友だちと並べて貼ったり、「さかなさんが跳んでいるようにする」と貼る向きもこだわったりしていますよ。



また、どうぶつさんでかき氷を作りました。しゃぼん玉液に色をつけて、ふう〜と味付け。「いちご味にしようかな?」「ぶどうとおれんじ味にしよう」と好きな味、食べたことのある味にしていました。お皿に盛り付けて、完成!美味しそうなかき氷が出来ました。

## 〇〇〇〇〇〇〇〇 〈たのしみだね、うんどうあそび〉 〇〇〇〇〇〇〇〇 【グループのあそび】

冒険や探検を楽しんでいるどうぶつグループさん。みんなは何を探しに行きたい?と聞いてみると、「虫さん!」「かわいいお花をさがしたい」などいろいろな意見が出てきました。その中でも多かったのは、虹でした。「いろいろな色の虹をさがしにいきたい!」と子どもたち。そんな虹を何で作るのか、何色にするのかは、ゆりさん筆頭に考えました。何で作るのかを考えると、「3枚折りとか5枚折りとかはどうかな?」と考えを出してくれました。「いいね!」となる中、「さくらさんも一緒に作れるものが良いんじゃない?」という言葉が出てきました。「そうだね、みんなで一緒に作れるものにしよう!」ということで、ちぎりで作ることにしました。みんなで決めた色をちぎって貼って、大きな虹ができました。初めは自分の思いを言葉にして伝える、意見を言うことが苦手なゆりさんでしたが、今では、恥ずかしい気持ちはまだあるけれど自分の考えや思いを言葉にして伝えてくれるようになりました。子どもたちの意見を聞くことを大切にしながら、一緒に考えて、作って楽しんでいこうと思います。



### 【ゆりさんのあそび】

うんどうあそびの日にお家の方にどんな姿を見てもらいたいのか、どんなことを頑張りたいのか、みんなで話しました。八瀬のお山で魔女さんに会えなかったということもあり「自分たちが魔女の世界に行きたい」、「魔法の歌を歌ってみたいかな?」、「どうやったら魔女の世界に行けるのだろうか?」ということをもみんなで考える中で、『まほうのて』の歌に合わせてお友だちと手と手を合わせたり、繋いで星やハートを作ってみたりと、どんな形が出来るかみんなで考えながら楽しんでいます。また、ずっと頑張ってきた10回跳びの縄跳びも見てもらいたいと伝えてくれました。お友だち同士で「こうやってとぶんだよ」と教えあいながら、力を合わせて練習することで、リズムよく跳べるようになってきたお友だちもいます。2人跳びなど、技のある跳び方にも挑戦しています。お泊り保育の時に魔女さんからもらった魔法の力もあり、子どもたちは「魔法がかかっているから!」「前よりいっぱい跳べるようになった」等と、より一層頑張っていますよ。

## 🌸🌸🌸🌸🌸🌸 〈敬老の日プレゼント〉 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

敬老の日プレゼントを作っている子どもたち。「おじいちゃん・おばあちゃんにプレゼントつくろっか」と伝えると「おやすみのひにね...」「おじいちゃんってね、」「おばあちゃんってね、」と話しがたくさん出てくるほど大好きなおじいちゃん・おばあちゃん。ゆりさん・ばらさんは染め紙で、さくらさんは、はじき絵でお花を作っています。「なにいろがすきかな〜」と考えて色を選んで作っています。

